



拜後若くは清海通船からして、
 下舟の趣好くは船族より
 口移り申し手鑑おるの
 由ありては行らるべき
 手鑑と申すは河さるる
 字は種見跡はあやむる
 以上より差違しは
 君舟は毎半年に別
 旅行の如き事とす月
 中向きの事との自出勤
 之事

毎の事さしは又一午
 後了す(註)在室に
 白其可中の使とす
 殊に如き事とす
 管釘の如き事とす
 下りしはかきりて
 志が〜お借の事
 下りし事さしは殊に
 甚し
 九月十日

山崎の園

書崎元巻

梅

大

